

年頭にあたってのご挨拶

関係の皆さま方におかれましては、ご家族や身近な方々とともに、穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今年の干支は壬寅（みずのえ・とら）で、「陽気(ようき)を孕(はら)み、春の胎動(たいどう)を助(たす)く [冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になる]」という意味があるとのこと。コロナ禍を経てより良い姿形への再構築に向かう年になることを祈念いたします。

昨年は、コロナ禍の影響も受けつつ、働き方改革の定着を感じる年だったと認識しています。工事・業務の現場での週休二日や感染防止対策の徹底、Web 会議や遠隔臨場の導入など、新たな取り組みが日常的に取り組みれつつあると感じています。これらの中には、当局側からの要請事項のみならず、事業者の皆さま方からの要望事項も含まれており、今後も相互の理解、協力のもとで、より良い事業環境の創出に努めていければ幸いです。

所管事業については、まずは、おかげさまでオリンピック・パラリンピック東京大会 2020 に関して、羽田空港として無事に役割を果たすことができました。関係の皆さま方には、関連の施設整備はもとより、大会期間中の現場管理や大会関連輸送へのご協力など、様々なご尽力を賜りましたことに、あらためて感謝申し上げます。

また、従来から取り組んで参りました滑走路等の耐震化・舗装改良、高潮対策としての用地造成・護岸改良、海域環境創造等の事業につきましても、皆さま方のご協力のもと、概ね計画通りに事業を進捗させることができました。

さらに、昨年度から新規に取り組んでいる空港アクセス鉄道事業、旅客ターミナルエプロン改良事業につきましても、調査設計業務を順調に進めさせていただき、おかげさまで今年は現地着工できる見通しとなっております。

昨今のコロナ禍からの回復基調の中で、羽田空港として、コロナ禍からの回復に向けた安全・安心な航空輸送の実現と需要回復・増大への的確な対応をすべく、今後も事業を計画的に推進していく必要があります。上記の通り、今年は、空港アクセス鉄道事業、旅客ターミナルエプロン改良事業において、順次、現地着工を目指して参ります。

ご案内のとおり、当所所管の工事、業務は、運用中の空港で実施するもので、夜間・土日休日の実施や、厳しい現場管理が必須であり、関係の事業者の皆さま方のプロジェクトマネ

ジメント、施工管理は困難を極め、安全確保に最大限のご配慮をいただきながら、計画的で丁寧に取り組んでいただいている認識です。本年も引き続き、安全第一、事故防止、空港運用への影響回避の理念のもと、着実な事業の推進にご協力をいただけますよう、お願いを申し上げます。

また、コロナ禍の影響を受けつつも、現場での週休二日の実現、基本的感染防止対策の徹底、Web 会議、遠隔臨場や CIM の導入などを含めたインフラ DX の推進など、より良い事業環境の創出、生産性の向上に繋がる働き方改革にも、皆さま方のご理解、ご協力のもと、積極的に取り組んで参る所存です。

関係の皆さま方におかれましては、本年が干支の意味するとおりに、今後のご発展の起点の年となりますようお祈り申し上げますとともに、本年も引き続き、当事務所の所管事業にご理解、ご協力を賜りますよう重ねてお願いを申し上げます。

本年も、「ご安全に」、よろしく願いいたします。

令和4年1月
国土交通省関東地方整備局
東京空港整備事務所長 小澤 敬二